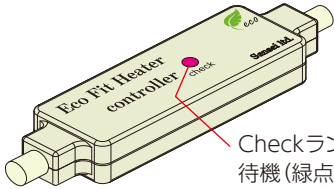


ランプ表示・制御

通電条件は外気温度が5℃以下かつ、ヒーター内センサーが一定温度以下(凍結防止ができる温度以下)の場合に Checkランプが赤色になりヒーターに通電されます。

●温度コントローラー (外気温度通電確認)

外気温度センサー内蔵、Checkランプ付きヒーター通電状態が確認できます。

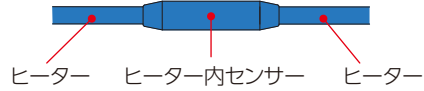


Checkランプ(状態表示)
待機(緑点灯) / 通電(赤点灯)
節電制御(緑・赤 交互点灯)

※ EFH-15m・20mはコントローラー外観が上図とは異なります。

●ヒーター内センサー

ヒーター内部にセンサーを設けることで適切な温度管理を行い凍結防止に必要な分だけヒーター通電をする省エネ設計です。



●ヒーター内センサー位置について

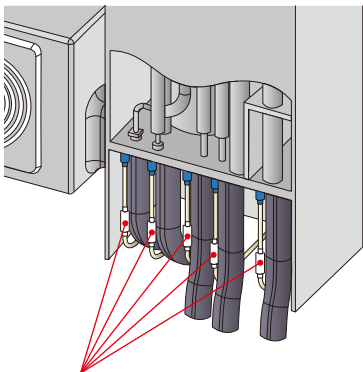
ヒーター長さによってヒーター内センサー位置が異なります。ヒーターを配管に取り付けする際には、配管温度をセンサーに伝えるように施工してください。

- EFH0.5から3.5mまではヒーター長の約1/2
- EFH4.0mから20mまではコード接続部から2m

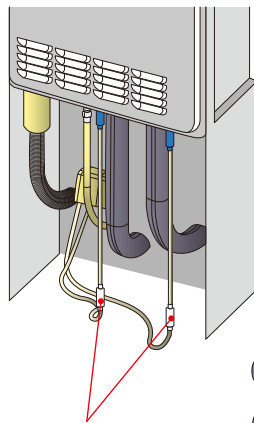
施工例

●エコキュート

給水管・給湯管・循環管
各樹脂管の凍結防止に。



エコフィットヒーター

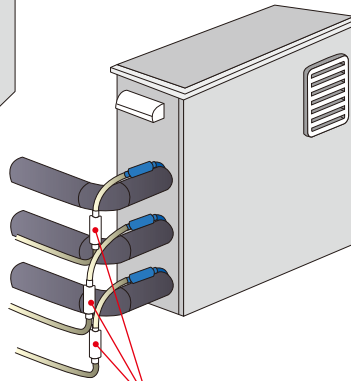


エコフィットヒーター

●ガス給湯器

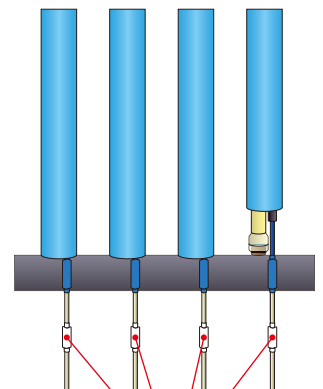
●石油給湯器

給水管・給湯管・循環管
オーバーフロー管の凍結防止に。



エコフィットヒーター

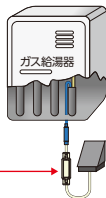
●ヘッダー工法



エコフィットヒーター

●温度コントローラー設置場所

- ・直射日光が当たらない場所で、最も外気温度が下がる場所に設置してください。
- ・温度コントローラーはヒーター取付けた配管と同環境に設置するようにします。設置環境が異なる場合は、配管凍結や異常加熱になる恐れがありますので、設置場所のご選定にご注意ください。



化粧カバーや給湯器内部に設置しないでください。給湯器の熱で外気温度センサーが誤作動して凍結する恐れがあります。

●エコキュートへの施工

- ・蒸気配管以外の100℃以下の配管に使用できます。保温材の厚さはエコキュート製造メーカーにお問い合わせください。
- ・温度コントローラーは外気温または最も気温の下がる場所で、Checkランプの確認できる場所に設置してください。化粧カバー内や貯湯タンク内に温度コントローラーを設置した場合、給湯器の熱を外気温度センサーが感知するため、通電されずに凍結する恐れがあります。

※1 ヒーター固定テープについて

架橋ポリエチレン管、ポリブテン管へ施工する場合、ビニールテープなどの可塑性を含むテープは使用できません。純アルミテープ、ポリエステルテープなどの可塑性を含まない製品を使用してください。エコフィットヒーターはヒーターに可塑性を含まないため、上記の配管にも安心して使用することができます。別売にて固定テープを販売しております。御寿命の際は弊社までお問い合わせください。